

# 岩手県の農林水産業の概要

## 特徴・取組

岩手県は本州の北東部に位置し、東西約122km、南北約189kmと南北に長い楕円の形をしており、その面積は、約1.5万km<sup>2</sup>と国土面積の4%を占め、北海道に次ぐ広さとなっている。

奥羽山脈の山沿い地方は冬に雪の多い日本海側の気候、北上高地は高原性・盆地性の気候、北上川沿いの平野部は全般的に冬は寒さが厳しく夏は暑い内陸性の気候、沿岸部は海洋性の気候となっており、地域の気象条件や特性を生かした多彩な農林水産物の生産が行われている。

岩手県の産業別総生産（令和4年度）は、第1次産業が1,497億円（3.1%）、第2次産業が12,325億円（25.7%）、第3次産業が33,708億円（70.3%）となっている。

また、農業産出額は3,269億円（令和6年）で、東北第2位、全国第10位となっており、そのうち畜産が1,864億円と57.0%を占めている。

岩手県の農業は、米、畜産に加え、全国一のりんどうや夏秋ほうれん草等の園芸産地が形成され、米を始め、園芸、畜産を柱とした収益性の高い農業への再編が図られている。林業は、豊富な森林資源を将来にわたり循環利用するとともに、森林の公益的機能が発揮されるよう適切な森林整備、地域を集約して経営を行う担い手の育成、木材生産の低コスト化、県産材の利用促進等に取り組んでいる。

水産業は、親潮と黒潮がぶつかる世界有数の漁場のほか、複雑に入り込んだリアス式海岸を生かし、あわび、わかめ及びさけ等の「つくり育てる漁業」が盛んである。

GI登録件数は全国第3位の9件で、「前沢牛」、「岩手野田村荒海ホタテ」、「岩手木炭」、「二子さといも」、「浄法寺漆」、「甲子柿」、「広田湾産イシカゲ貝」、「西わらび」、「川井赤しそ」が登録されている。

岩手県では、食料の安定供給や環境にやさしい農業生産に関心が高まる中、産地の核となる担い手を中心として、中小・家族経営など多くの農家とともに、化学肥料・農薬の使用量の低減やスマート農業技術の導入を推進するなど、持続可能で生産性の高い農業に取り組んでいる。

また、林業では、森林資源の循環利用の推進、県産木材の供給体制の更なる強化に取り組んでいる。水産業では、海洋環境の変化に対応したさけ等主要魚種の資源回復やさけ・ます類の海面養殖の拡大を図り、地域の水産業の生産性向上を目指して取り組んでいる。

## 主な農林水産物

### りんどう(切り花類)

昭和33年に野生株を収集して水田で栽培したのが始まり。昭和42年からオリジナル品種の開発を開始。

(出荷量全国1位)



### ホップ

栽培面積は全国の約5割を占める。契約栽培による安定した収益が確保されている。

(生産量全国1位)



### りんご

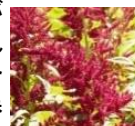
冷涼で気温の日較差が大きい恵まれた気象条件と、わい化栽培により早期多収で高品質。ふじ、ジョナゴールド、はるかなど品種も多彩。

(収穫量全国3位)



### 雑穀

近年、健康食ブームにより雑穀の様々な成分や機能性が見直され多様な活用が行われているほか、郷土食として今も地元で根付いている。花巻市や県北地方を中心に栽培。



### ブロイラー

国内を代表する産地で、岩手独自の地鶏を含む多数の銘柄鶏があり、オリジナルの餌等により肉質等にこだわりを持った生産が行われている。

(飼養羽数全国3位)



### 肉用牛

黒毛和種は、県下に多数の銘柄牛を飼養。特に前沢牛の牛肉はGI登録されている。

また、希少な日本短角種は全国の4割を生産。

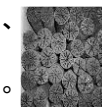
(飼養頭数全国7位)



### 木炭(黒炭)

原木となるナラが豊富にあり、県北地域を中心に生産され、全国の4割を占める日本一の産地。

(生産量全国1位)



### 生うるし

国内生産量の約8割を生産。「浄法寺漆」は、中尊寺金色堂、日光東照宮など世界遺産の保存修理にも用いられている。

(生産量全国1位)



### あわび

コンブ等が豊富に生い茂る漁場で育ったあわびは、肉厚で歯ごたえが良いのが特徴。干して加工した乾鮑は高級中華食材に使用されている。

(漁獲量全国3位)



### わかめ類

肉厚で歯ごたえがあり、色が濃く熱に強いことが特徴で、全国でも有数な品質。

(収穫量全国2位)



# 岩手県内の各地域における農林水産物

## 盛岡地域

【農畜産物】米、小麦、そば、ピーマン、やまのいも、きゅうり、キャベツ、レタス、だいこん、はくさい、ほうれんそう、ブロッコリー、トマト、ズッキーニ、すいか、りんご、なし、ぶどう、やまぶどう、りんどう（切り花類）、アルストロメリア（切り花類）、スターチス（切り花類）、肉用牛、豚、生乳

【林産物】からまつ、広葉樹、生しいたけ、なめこ

【水産物】ます類（内水面）

## 県南地域

【農畜産物】米、そば、大豆、小麦、ピーマン、きゅうり、アスパラガス、えだまめ、トマト、さといも、りんご、ぶどう、なし、ホップ、小ぎく、りんどう（切り花類）、肉用牛、豚、生乳、ブロイラー

【林産物】すぎ、広葉樹、生しいたけ、水わさび

## 県北地域

【農畜産物】雑穀、きゅうり、キャベツ、レタス、トマト、ほうれんそう、にんにく、りんどう（切り花類）りんご、おうとう、ホップ、やまぶどう、葉たばこ、肉用牛、豚、ブロイラー、生乳

【林産物】あかまつ、広葉樹、木炭、生しいたけ、乾しいたけ、生うるし

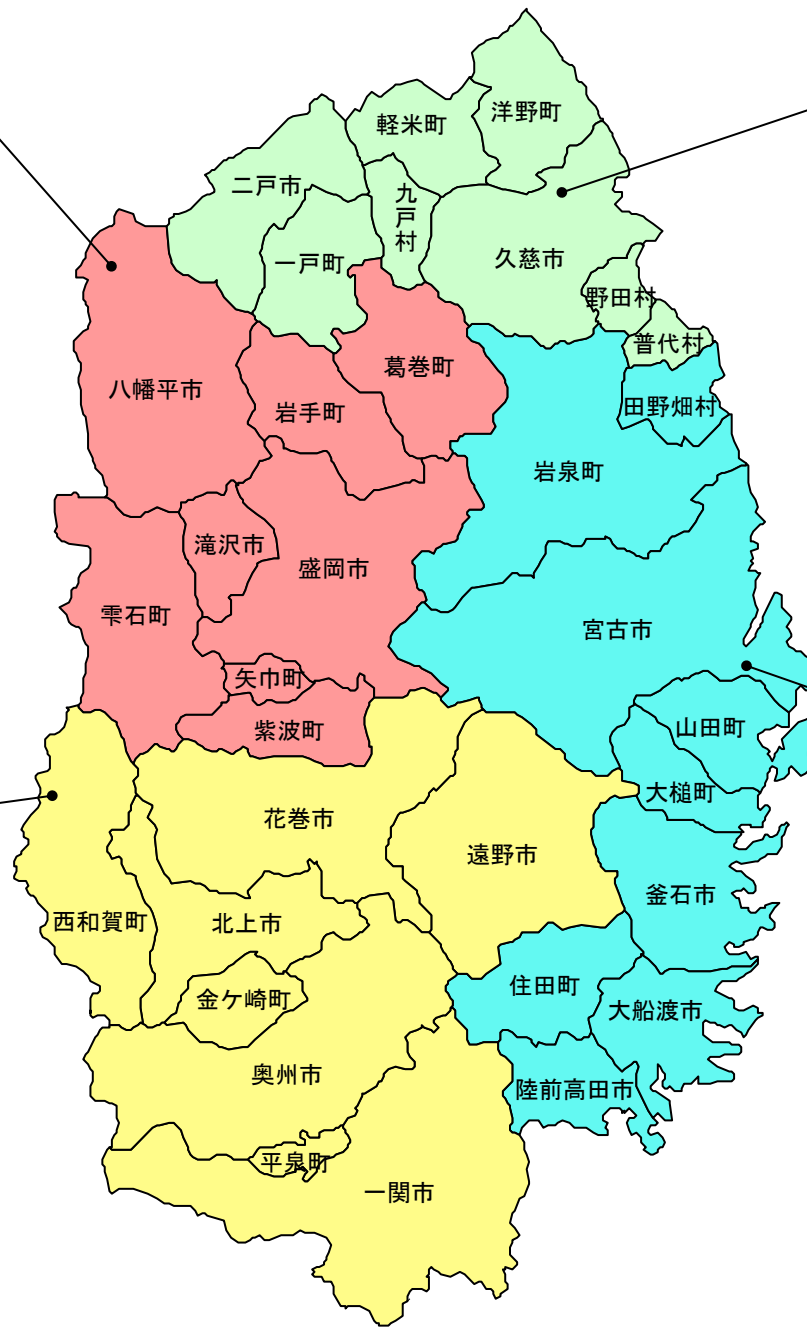
【水産物】するめいか、あわび類、うに類、こんぶ類（養殖）、ほたてがい（養殖）、さけ・ます類

## 沿岸地域

【農畜産物】ピーマン、ブロッコリー、いちご、しそ、肉用牛、豚、ブロイラー、生乳

【林産物】広葉樹、生しいたけ、乾しいたけ、畑わさび、まつたけ

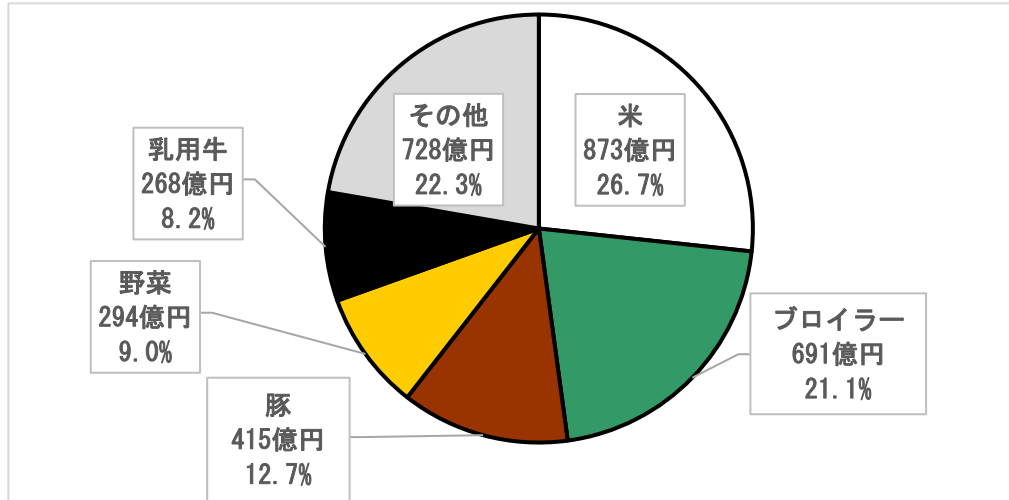
【水産物】かつお、さけ・ます類、さば類、さんま、たら類、おきあみ類、するめいか、あわび類、うに類、ほたてがい（養殖）、かき類（養殖）、わかめ類（養殖）、こんぶ類（養殖）



# 岩手県の農業（1）

- ・農業産出額は3,269億円で全国10位。うち米が873億円（26.7%）、野菜が294億円（9.0%）、畜産が1,864億円（57.0%）。
- ・農畜産物の生産状況は、りんどう、やまぶどう、ホップが全国1位、りんご、ブロイラー、葉たばこが3位。

## 農業産出額の概略



## 農畜産物の生産状況

区分	年次	岩手県	全国	全国順位
ピーマン	収穫量	8,480 t	143,000 t	5
りんご	収穫量	36,700 t	609,200 t	3
りんどう	出荷量	40,800 千本	68,300 千本	1
肉用牛	飼養頭数	81,800 頭	2,595,000 頭	7
乳用牛	飼養頭数	37,600 頭	1,293,000 頭	4
ブロイラー	飼養羽数	23,604 千羽	144,859 千羽	3 *
生乳	生産量	196,015 t	7,418,222 t	4
やまぶどう	収穫量	107 t	158 t	1
葉たばこ	販売重量	1,035 t	8,336 t	3
ホップ	生産量	56 t	121 t	1

出典：「野菜生産出荷統計」、「果樹生産出荷統計」、「花き生産出荷統計」、「畜産統計」、「牛乳乳製品統計」、「特産果樹生産動態等調査」、「葉たばこ販売実績」、「ホップに関する資料」

## 農業産出額のデータ

区分	岩手県の農業産出額	全国の農業総産出額	全国順位
農業産出額	3,269 億円 (100.0)	107,801 億円 (100.0)	10
米	873 億円 (26.7)	25,524 億円 (23.7)	11
麦類	x 億円	582 億円	- *
雑穀	3 億円	87 億円	9
豆類	7 億円	621 億円	13
いも類	7 億円	2,565 億円	32
野菜	294 億円 (9.0)	25,510 億円 (23.7)	31
果実	141 億円 (4.3)	10,112 億円 (9.4)	17
花き	44 億円	3,423 億円	25
工芸農作物	23 億円	1,577 億円	12
その他作物	x 億円	583 億円	- *
畜産	1,864 億円 (57.0)	36,654 億円 (34.0)	4
肉用牛	253 億円	7,861 億円	6
乳用牛	268 億円	10,035 億円	6
生乳	257 億円	8,937 億円	4
豚	415 億円	7,567 億円	6
鶏	917 億円	10,170 億円	2
鶏卵	187 億円	5,764 億円	14
ブロイラー	691 億円	4,259 億円	3 *
その他畜産物	11 億円	1,021 億円	6
加工農産物	0 億円	565 億円	40

出典：「令和6年農業総産出額及び生産農業所得(全国)」、「令和6年農業産出額及び生産農業所得(都道府県別)」  
注：( ) は農業総産出額及び農業産出額を100%とした割合である。

都道府県の農業、林業、漁業の表の見方

・令和8年3月31日時点における最新の統計等の公表データを使用

・表中に使用した記号は次のとおり

「0」：単位に満たないもの(例:0.4t→0t)

「-」：事実のないもの

「…」：調査を欠くもの

「x」：秘密を保護するため統計数値を公表しないもの。

「\*」：秘密を保護するため統計数値を公表していない都道府県を除いた順位

# 岩手県の農業（2）

- ・耕地面積は14万6,000haで全国5位。うち田が9万1,500ha、畑が5万4,500ha。
- ・農業経営体数は2万7,128経営体で全国8位。うち法人経営体数が899経営体で8位。
- ・国、市町村認定及び都道府県認定経営体数は5,474経営体で全国15位。うち法人数が780法人で11位。
- ・農業生産関連事業は、観光農園の年間販売（売上）金額が12億円で全国13位、農業経営体数は40経営体で33位。

## 耕地面積

区分	岩手県	全国	全国順位
耕地面積	146,000 ha	4,272,000 ha	5
田	91,500 ha	2,319,000 ha	8
畑	54,500 ha	1,952,000 ha	5
普通畑	24,900 ha	1,118,000 ha	12
樹園地	3,210 ha	248,600 ha	22
牧草地	26,300 ha	585,900 ha	2
参考) 総土地面積	15,275.05 km <sup>2</sup>	377,979.74 km <sup>2</sup>	2

出典：「令和6年耕地面積(7月15日現在)」、「令和8年全国都道府県市区町村別面積調(1月1日時点)」(国土交通省国土地理院)

## 荒廃農地面積

区分	岩手県	全国	全国順位
荒廃農地面積	3,108 ha	256,667 ha	30

出典：「令和6年度の荒廃農地面積(令和7年3月31日現在)」

## 農業経営体数、農家数及び集落営農数

区分	岩手県	全国	全国順位
農業経営体数	27,128 経営体	836,054 経営体	8
法人経営体数	899 経営体	33,819 経営体	8
総農家数	41,458 戸	1,394,135 戸	7
販売農家数	25,749 戸	792,808 戸	8
参考) 世帯総数	492,436 世帯	55,830,154 世帯	32
集落営農数	589 集落営農	13,952 集落営農	8

出典：「2025年農林業センサス(令和7年2月1日現在)」、「令和2年国勢調査」(総務省統計局)、「令和7年集落営農実態調査結果(令和7年2月1日現在)」

## 担い手への農地の集積状況

区分	岩手県	全国	全国順位
担い手への集積面積	81,800 ha	2,627,068 ha	5
集積率	56.0 %	61.5 %	15

出典：「農地中間管理機構の実績等に関する資料(令和6年度版)」

## 基幹的農業従事者数及び認定農業者数

区分	岩手県	全国	全国順位
基幹的農業従事者数	32,682 人	1,036,228 人	10
男	19,953 人	659,332 人	11
女	12,729 人	376,896 人	8
65歳以上	24,912 人	721,311 人	7
基幹的農業従事者数に対する65歳以上割合	76.2 %	69.6 %	-
国、市町村認定及び都道府県認定経営体数	5,474 経営体	212,136 経営体	15
法人数	780 法人	29,684 法人	11
参考) 人口総数	1,210,534 人	126,146,099 人	32

出典：「2025年農林業センサス(令和7年2月1日現在)」、「認定農業者の認定状況(令和7年3月末現在)」、「令和2年国勢調査」(総務省統計局)

## 農業生産関連事業の年間販売（売上）金額及び事業体数

区分	岩手県	全国	全国順位	
農産加工	総額	10,126 百万円	1,006,107 百万円	29
	事業体数	670 事業体	26,910 事業体	14
農産物直売所	総額	17,913 百万円	1,134,381 百万円	29
	事業体数	410 事業体	20,960 事業体	22
観光農園	総額	1,214 百万円	39,113 百万円	13 *
	農業経営体数	40 経営体	4,350 経営体	33
農家民宿	総額	181 百万円	4,933 百万円	9 *
	農業経営体数	20 経営体	770 経営体	7
農家レストラン	総額	644 百万円	39,900 百万円	25 *
	事業体数	40 事業体	1,390 事業体	9

出典：「令和6年度6次産業化総合調査結果」

# 岩 手 県 の 林 業

- ・ 林業産出額は185.3億円で全国5位。うち木材生産が139.9億円、栽培きのご類生産が39.6億円。
- ・ 林産物の生産状況は、素材生産量が全国3位、あかまつ・くろまつ、黒炭、生うるしが全国1位、広葉樹、生しいたけ、まつたけが2位。

## 林業産出額

区 分	岩 手 県	全 国	全国順位
林業産出額	185.3 億円	4,769.8 億円	5
木材生産	139.9 億円	2,369.4 億円	4
栽培きのご類生産	39.6 億円	2,322.7 億円	16

出典：「令和6年林業産出額」

## 林産物の生産状況

区 分	岩 手 県	全 国	全国順位
素材生産量	1,170 千m <sup>3</sup>	19,763 千m <sup>3</sup>	3
針葉樹	1,063 千m <sup>3</sup>	18,398 千m <sup>3</sup>	3
あかまつ・くろまつ	146 千m <sup>3</sup>	459 千m <sup>3</sup>	1
からまつ	214 千m <sup>3</sup>	1,733 千m <sup>3</sup>	3
広葉樹	107 千m <sup>3</sup>	1,365 千m <sup>3</sup>	2
黒炭	生産量 1,368 t	3,301 t	1 *
生しいたけ	生産量 4,088 t	61,959 t	2
生うるし	生産量 1,421 kg	1,792 kg	1
まつたけ	生産量 7 t	51 t	2 *

出典：「令和6年木材統計」、「令和6年特用林産基礎資料」

## 林野面積

区 分	岩 手 県	全 国	全国順位
林野面積	1,147,148 ha	24,744,214 ha	2
国有林	363,822 ha	7,117,059 ha	5
民有林	783,326 ha	17,627,155 ha	2
人工林面積	477,874 ha	10,059,386 ha	2

出典：「2025年農林業センサス(令和7年2月1日現在)」

## 製材工場数

区 分	岩 手 県	全 国	全国順位
製材工場数	104 工場	3,547 工場	11
製材用素材の入荷があった工場数	104 工場	3,492 工場	11
国産材のみ	83 工場	3,013 工場	15
国産材と輸入材	21 工場	386 工場	5

出典：「令和6年木材統計」

## 林業経営体数

区 分	岩 手 県	全 国	全国順位
林業経営体数	1,341 経営体	23,300 経営体	3
法人経営体数	186 経営体	3,813 経営体	3

出典：「2025年農林業センサス(令和7年2月1日現在)」

# 岩 手 県 の 水 産 業

- ・ 漁業産出額のうち、海面漁業・養殖業産出額は379億円で全国13位。
- ・ 水産物の生産状況は、海面漁業のあわび類、さけ類が全国3位、海面養殖業のこんぶ類、わかめ類が2位、内水面漁業のさけ類が4位。
- ・ 漁業生産関連事業は、漁家民宿の年間販売（売上）金額が7,300百万円で全国18位、漁業経営体数は10経営体で13位。

## 漁業産出額

区 分	岩 手 県	全 国	全国順位
海面漁業・養殖業産出額	379 億円	14,785 億円	13
海 面 漁 業	277 億円	8,894 億円	7 *
海 面 養 殖 業	102 億円	5,891 億円	16 *

出典：「令和6年漁業産出額」

## 漁業経営体数

区 分	岩 手 県	全 国	全国順位
海面漁業経営体数	2,896 経営体	65,662 経営体	4
内水面漁業経営体数	34 経営体	4,076 経営体	32

出典：「2023年漁業センサス(令和5年11月1日現在)」

## 漁業就業者数

区 分	岩 手 県	全 国	全国順位
海面漁業就業者数	4,998 人	121,389 人	5
男	4,416 人	109,757 人	6
女	582 人	11,632 人	8

出典：「2023年漁業センサス(令和5年11月1日現在)」

## 漁船隻数

区 分	岩 手 県	全 国	全国順位
漁船隻数	5,041 隻	109,284 隻	3
動力漁船	1,022 隻	58,907 隻	21

出典：「2023年漁業センサス(令和5年11月1日現在)」

## 水産物の生産状況

区 分	岩 手 県	全 国	全国順位
海面漁業・養殖業生産量	97,696 t	3,589,121 t	8 *
海面漁業漁獲量	73,500 t	2,786,195 t	10
さけ類	65 t	46,706 t	3
あわび類	74 t	595 t	3
海面養殖業収穫量	24,196 t	802,927 t	11 *
こんぶ類	3,556 t	24,554 t	2 *
わかめ類	12,077 t	39,658 t	2 *
内水面漁業・養殖業生産量	282 t	47,046 t	22 *
内水面漁業漁獲量	50 t	17,915 t	21
さけ類	49 t	4,910 t	4
内水面養殖業収穫量	232 t	29,131 t	19
にじます	184 t	5,202 t	7

出典：「令和6年漁業・養殖業生産統計」

## 漁業生産関連事業の年間販売（売上）金額及び事業体数

区 分	岩 手 県	全 国	全国順位	
水産加工	総額	1,591 百万円	193,147 百万円	21
	事業体数	20 事業体	1,160 事業体	18
水産物直売所	総額	120 百万円	34,259 百万円	32 *
	事業体数	10 事業体	780 事業体	18
漁家民宿	総額	73 百万円	5,440 百万円	18 *
	漁業経営体数	10 経営体	540 経営体	13
漁家レストラン	総額	140 百万円	13,511 百万円	24 *
	事業体数	10 事業体	380 事業体	8

出典：「令和6年度6次産業化総合調査結果」

# 岩手県の農林水産業の話題等（1）

## 岩手県新ブランド米「白銀のひかり」デビュー

「白銀のひかり」は、県北地域の生産者の要望を受け、岩手県が10年の歳月をかけて開発した県オリジナルの水稻品種。「銀河のしずく」ゆずりの輝く白さと、ふっくらとした粒立ちを特徴とし、口に含めば食べ応えのある大きな粒感とともに、優しい甘みを感じることができる。

栽培適地である県北地域等において、高い栽培技術を有する生産者が栽培を進め、10月26日のデビューイベントをはじめ様々なキャンペーンを実施した。

「白銀のひかり」が岩手県の稲作を照らす希望の“ひかり”となるよう、関係機関および団体が一丸となってPRに取り組んでおり、県オリジナル品種「金色の風」および「銀河のしずく」と並ぶブランド米として、多くの人々に広く認知され、愛食されることが期待されている。



（ロゴマーク：JA全農いわて提供）



上下：「岩手の美味しいお米新米フェア」の様子  
（写真：令和7年11月 岩手県産米レポートより）

## 環境負荷低減の取組

### ～グループ申請による「みどり認定」の取組～

令和4年7月1日にみどりの食料システム法（環境と調和のとれた食料システムの確立のための環境負荷低減事業活動の促進等に関する法律）が施行され、農林漁業に由来する環境への負荷の低減を図るために行う事業活動等に関する計画の認定制度（みどり認定）が設けられた。

奥州市（江刺を除く）と金ヶ崎町を事業エリアに持つJA岩手ふるさととは、水稻の有機質資材施用による土づくり及び化学肥料・化学農薬の使用を削減する「特別栽培」、温室効果ガスの排出量を削減する「中干し期間の延長」、「秋耕の実施」の取組を管内生産者に推進し、グループ申請により3,756経営体が認定を受けた。

一つの地域の生産者が一体となって環境負荷低減に取り組むことにより、他地域への波及、環境に配慮した持続的な生産への理解が進むことが期待される。



中干しの様子



秋耕の様子

### 取組の内容

（令和7年秋期米穀座談会資料より抜粋）

○水稻 8,056ha 3,756経営体

（現状）⇒（目標年度）

・特別栽培米拡大（化学肥料・化学合成農薬5割削減）  
1,461ha(845経営体) ⇒ 1,838ha(865経営体)

・秋耕の実施（温室効果ガス削減）  
3,125ha(1,353経営体) ⇒ 8,056ha(3,756経営体)

・中干し期間の延長（温室効果ガス削減）  
746ha(30経営体) ⇒ 1,070ha(42経営体)



認定証交付式

# 岩手県の農林水産業の話題等（2）

## 地域の力で育てる生産量日本一の「あい鴨」 ～田野畑村～

田野畑村は地域活性化を目指して「あい鴨」の食肉生産に注力しており、株式会社アマタケと村が共同で設立した株式会社甘竹田野畑が生産を担っている。

種鴨には北京種を元に品種改良された「チェリバレー種」を用い、衛生管理を徹底しながら抗生物質を使わずに育てることで、臭みがなく、旨みのある鴨肉を生産している。肥育から食肉処理まで一貫生産を行い、加工品は関西を中心に出荷され、首都圏でも需要が拡大しており、東北では大手スーパーや地元の道の駅で販売しているほか、オンラインショップでも購入することができる。

地域と企業の協力により、村の雇用や産業振興に貢献しているほか、令和8年3月からは新ブランド「岩手三陸たのはた鴨」を立ち上げ、全国展開により更なる生産・販売の拡大が期待されている。



温度調整を行わず自然に近い環境と広い鴨舎でのびのびと飼育



雛  
(提供: 株式会社アマタケ)



鴨肉を使った鍋  
(提供: 田野畑村役場)



新ブランドのロゴマーク  
(提供: 株式会社アマタケ)

## 岩手県産原料100%で実現した「つなぐビール」 ～岩手大学クラフトビール部～

2021年、岩手県内の農地保全と地域経済循環を目的に岩手大学の学内カンパニーである岩手大学クラフトビール部が、岩手県内のブルワリー、農業者と連携し、ビール用大麦栽培から岩手県産原料100%のビール製造に取り組む「つなぐビールプロジェクト」を立ち上げた。

原料となる大麦の栽培は、東北農業研究センターの協力の下、農業者が担い、ビール醸造・販売は盛岡市にある株式会社ベアレン醸造所が担う。プロジェクト始動から3年を経て、「つなぐビール」が完成した。

プロジェクトのコンセプトとしては、「つなぐビール」を消費することで、間接的に農地保全や地域経済循環の促進につながり、ビールを飲むだけで消費者も地域発展に参加できる仕組みとなっている。



岩手のちょっと良い未来につなげる  
県産原料100%「つなぐビール」  
(提供: 岩手大学クラフトビール部)



ビール麦畑と岩手大学クラフトビール部  
(提供: 岩手大学クラフトビール部)